

ユツンに漂着した郵便ポスト(その後)



東北へ帰ることが できました!

we support!

RQ

災害教育
センター

復興支援
「かわけばん」

「すけさきた」

「しんぶん」

雨水
朔日

「すけさきた」とは
宮城県登米市あたりの言葉で
「ホランティアに来たよ」という
意味である。

ユツン

長旅
おつかれさま!



南三陸町歌津



(2月15日 東京新聞ウエブ)

(東京新聞の記事より)

沖縄県竹富町の西表島の海岸で昨年末、東日本大震災の津波で流されたと思われる宮城県南三陸町の郵便ポストが見つかったことが15日、わかった。南三陸町と西表島は直線距離で約2400キロ離れている。
*ポストは一部がさび、手紙などは入っていなかった。

ポストは、震災の記憶を風化させないようにと、3月から日本郵便東北郵政研修センター(仙台市)で職員向けに展示される。

日本郵便などによると、ポストは昨年12月28日、西表島の北東部海岸で地元の住民が見つけた。中に残されていたラベルから、南三陸町歌津のコンビニ「セブンイレブン宮城歌津店」に設置されていたとわかった。

※直線距離は2400キロですが、すけさきた大寒号でご紹介したとおり、実際には太平洋を大きく回って西表に到達したものと考えられます。



「セブン歌津 乙」という名札
これが身元特定の決め手になりました



郵便差出箱(九号F型
平成7年3月

これからもさまざまなものが漂着すると思われます
所有者の特定ができそうなものを見つけた場合は
警察などの政府機関にご連絡ください